

21 世紀の生命を育む

# はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



## 熱さましの使い方



### <熱が出た！>

熱が高いと脳がやられる,なんてことをいいますが, 40℃ぐらいの熱があつたって脳がやられることはありませんので安心して下さい。「高熱で頭が馬鹿になる」というのは俗説です。



### <熱さましは一時しのぎ>

熱さましは, 熱によるつらさを軽くするためのくすりで, 病気を治すくすりではありません。熱を下げることばかりに気をとられないようにしましょう。



### <熱さましの使い方>

38.5℃以上を目安に解熱剤を使用して下さい。38.0℃でも熱でぐったりしていれば使用して差し支えありません。39.0℃でも元気であれば無理に使用する必要はありません。38.5℃はあくまでも目安です。5-6時間あけて使用して下さい。



### <からだを冷やすのが一番です！！>

冷えたタオルで頭を冷やして下さい。頭だけでなく, 首すじ, 両わき, 股の付け根を冷やすのも効果的です。子どもが嫌がる時は無理に冷やす必要はありません。

少し薄着にして熱が体にこもらないようにしましょう。



### <坐薬？飲みぐすり？>

基本的にはどちらも同じですが, 坐薬の方が飲みぐすりよりも効きが少し早いです。吐くお子さんには坐薬を, 下痢の時や坐薬が嫌いなお子さんには飲み薬を与えて下さい。

当院ではお子さんの状態にあわせて, 座薬と飲み薬を用意しています。効き方には個人差があります。

当院では, 原則として, アセトアミノフェン(商品名:カロナール, アンヒバなど)しか処方しません。アセトアミノフェンは最も安全な解熱剤です。